

記入年月日:2023年 10月 20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		国の設置基準以上の広さで、のびのびと活動ができております。
	2 職員の配置数は適切であるか	3		個別指導が主体なので、1対1もしくは1対2の職員配置で支援を行っています。社会福祉士、作業療法士、幼稚園教諭、保育士など児童、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3		お子様の状況によって集中しやすい環境調整や活動場所の選択を行っております。予定表の提示、移動の際の視覚提示など必要な配慮を個別に行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3		各部屋に空気清浄機を設置し、冬場は加湿を行っております。清掃、消毒をこまめに行い、清潔な環境に気を付けています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		PDCAサイクルを心がけ、出勤後に1日の動き、流れを確認しております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		1年に1回事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間でも結果を共有し、業務改善につなげております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3		ホームページ上に結果を掲載しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		現在は保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後必要に応じて外部評価の実施を検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3		外部研修の参加や、内部研修により支援の質を高めるよう努めています。職員それぞれの専門性の研鑽を推奨し、希望する研修を受けられるような機会を確保しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3		利用に際しての見学時に保護者面談を行い、ニーズを把握したり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		すくらむの使用や定期的に発達検査を行うことで、発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3		個別支援計画の目標を日々確認しながら、指導を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3		日々のミーティングや職員ミーティングで話し合い、共通の目標をもって取り組むことを目指しています。プログラムの立案については、子ども一人一人に合わせた活動プログラムを検討しています。課題や活動の目的や子どもの様子に合わせて、職員の役割やサポートの仕方を話し合うようにしています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3		一人ひとりの発達に応じ、集団適応・社会性の視点を持ちながら個別支援計画の作成に当たっています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3		日々のミーティングや職員ミーティングで話し合い、共通の目標をもって取り組むことを目指しています。プログラムの立案については、子ども一人一人に合わせた活動プログラムを検討しています。課題や活動の目的や子どもの様子に合わせて、職員の役割やサポートの仕方を話し合うようにしています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	パート職員については振り返りの時間確保が難しい場合もありますが、翌日以降に随時気になる点を確認し、次の支援に生かしています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3		6か月に1度もしくは必要時に見直しを行っています。	
関係機関	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3		児童発達支援管理責任者や担当者など適任者を選んで出席します。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3		必要に応じて幼稚園、保育所の見学、先生との面談や連携会議を行っています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象児なし。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3		対象児はおりませんが、通所しているお子様が医療機関を受診する際には連絡表を作成し、情報共有できる体制を作っております。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行ってまいります。

や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3		進学時には保護者の希望をお聞きしながら、支援経過や状況の引継ぎを行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		市内の発達支援センターと連絡を取り合いながら、必要なお子様への支援、相談を行っております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	交流活動等の実績はありませんが、保護者のご希望や必要なお子様がいいらっしゃる際には連携を行っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	自立支援協議会の全体会に出席したり、地域の実情を把握できる様に務めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		HUGの連絡帳やLINEを通じて、保護者の皆様と連絡を取っております。日々の記録は写真と併せて伝えることで、保護者の皆様が活動の様子をイメージしやすいような記録を心掛けています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		3	現在は実施しておりませんが、必要に応じて実施を検討します。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		契約時に説明をさせていただいております。また不明点は随時職員が説明をさせていただいております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3		契約時、半年に1回を目安に定期的にモニタリングを行い、支援内容を説明し同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3		希望に応じて相談を受け付けています。また定期的なモニタリング時にご家庭等の様子をお聞きしております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	まだ実施には至っておりませんが、今後実施を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	個別での指導が主であるため、一人一人への発信のみとなっておりまして、HUGの連絡欄を使用して、必要に応じて連絡事項、活動の目的等の情報を発信していきたいと考えております。より良い活用方法を今後も検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3		個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3		その日に取り組む活動を視覚的に提示したり、お子様等に伝える方法を取り入れています。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	行事等の開催はありませんが、町内会に入会し、地域の皆様に子ども未来図の周知、ご理解を頂いております。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3		マニュアルを作成し、職員会議にて対応方法の確認を行っています。周知・訓練について日々改善に努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3		今後も定期的な訓練を継続して実施していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3		保護者記入の個人票により把握しています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。児童の健康上の配慮や注意点について、職員全員が意識できるよう定期的な確認と周知を行ってまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	食事提供はありませんが、アレルギーについては契約時に確認しています。また、課題の中で着操作のご希望がある場合には、保護者の方にご用意いただいた食物を使用しています。必要に応じて、服薬・投薬・緊急搬送先などの取り決めを保護者の方と確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		3	まだヒヤリハットに該当することはなく、事例集の作成はしていません。ヒヤリハットに該当する事例があった場合、特定の報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		外部研修、事業所内でも研修を行っています。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すこととしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。	